



1. 学生のアルバイトを規制してほしい
2. 地価公示と公共用地の先買い権
3. 国民の 60% 以上が労務者になる日本

1. 毎年春になると、教職にたずさわっている者は、ようやく気心の知れたところで卒業生を送り出さなければならないし、またまた新しく入学してくる学生を迎える準備で忙しい毎日を送らなければならない。きまってこの季節には過去1年間の後悔と反省に迫られる。

年々、求人数はふえ、学生の就職がきわめて容易になっている。それとともに、休み中のアルバイトの需要も増加し、アルバイト料もうなぎのぼりに上昇し、いまや先生方のサラリーをはるかに越えているものさえある。

このように安易に就職ができ、アルバイトができると、自制心の少ない最近の大学生諸君は、きまって勉強する意欲を喪失し、講義すら受けなくなる。その結果、最近、大きな問題となっている大学生留年者数の増加をもたらすことになる。

われわれの側からも、なんらかの形で学生のアルバイトを規正するつもりでいるが、求人側にもぜひともご協力を願って、せめて4年間だけでも勉強に打ち込められるような環境を彼らに与えていただければこの上ない幸いと思う。

[S]

2. 国は4月2日、列島改造論と異常な土地ブームのなかで、三大都市圏と人口30万人の地方都市の全国5500か所の地価の公示価格を公表した。この1年間で全国平均31%の高騰率という。

資金のダブつきなどによる投機的な土地買収や改造論の地方開発呼起しによる地方の地価上昇が主因であろうが、わが国土の土地の値段は、われわれの意思とは無関係に上昇の一途をたどるばかりである。

しかも、実際の取引価格は公示値を大幅に上回っているのだから、この地価公示制度も国が地価を公表したというだけで、取引価格になんらの拘束力を持っていないのだ。地価の目安の参考にはなっても、地価の抑制上の効力がないから意味がないというべきか。

このように地価が上っていくと、自然に公共用地の取得難につながり、公共土木事業の実施が遅れたり困難になってくる。建設省のまとめによると、昭和47年度の建設省所管事業費のうち、用地費と補償費に食われる率は1/4を越えているとのことだ。この傾向は48年度もさらに激しくなり、予算はふえても、土地代と補償金を払って終り、ということにもなりかねない。

いま、公共土木事業の前には地価高騰に起因する大きな障害が立ちはだかっている。公共土木事業を進めるためには、財政上の手当てを十分に施して、公共事業用地の先買い権をさらに強くせねばならないことを痛感するのである。

[C]

3. 東京では桜の花びらが風に舞い、道行く娘さんたちの黒髪を飾る今日このごろ、日本の各地で高速自動車道、新幹線の建設がその槌音を高めている。先日筆者は、たまたま東北地方を訪れる機会を得て、東北縦貫道路の現場を見学してきた。筆者は今年の10月にもここ二本松をとおしたが、そのときと比較しても、目に見えて建設が進捗していることがわかる。現在全面着工をしている高速道路は東北道をはじめ十数路線にわたっている。建設中の地元の話の聞くと、付近の労務者の人々は、縦貫道が始まる前は地元の市町村道の改修をしたり、京浜地方に働きに出ていたのが、いまはみな縦貫道の現場で働いているとのこと。

一体、高速自動車道路網で働いている労務者は全国で何万人いるのだろうか。新幹線の建設現場で働いている人はどれだけであろうか？ くわしいことはわからないが、いずれにしても膨大な人数であることは間違いない。西ドイツの例を持ち出すまでもなく、わが国の土木界でも労働力の問題は、現在でも深刻な問題である。一説によれば在計画中の土木事業をすべて実行に移したならば、機械化施工の進歩を考えた場合でも昭和60年ころには、年々国民の60%以上が労務者にならなければならないといわれている。

筆者は労務者の不足に伴う地方の県道・市町村道改修の遅れを考えたとき、その面からの高速自動車道路網などの再検討がなされる時期がきていることを強く感じるのである。

[J]

# 土木 雑誌 施工技術

6月特別増大号 5月20日発売 特価500円(〒40円)

## 〈特別企画〉舗装技術ハンドブック

### 〈総論〉

アスファルト舗装の現状と問題点  
コンクリート舗装の最近の傾向と問題点

### 〈構造設計〉

アスファルト舗装設計の問題点  
アスファルト舗装の耐久性と軸重  
軟弱路床上の構造設計  
空港舗装の設計・施工

### 〈材料〉

石油アスファルトの品質の規準化  
アスファルト混合物の塑性流動と耐摩耗性  
最近の特殊材料

### 〈路床・路盤〉

路盤安定処理の設計・施工  
路床・路盤の締め管理  
軟弱路床・路盤の施工

### 〈表層・基層〉

スリックリフト工法の設計・施工  
アスファルト舗装の品質管理  
最近の施工機械の動向

### 〈維持・修繕〉

舗装道路の供用性評価  
オーバーレイの設計・施工  
交通車両による振動とその対策

### 〈特殊舗装〉

すべり止め舗装の現状と問題点  
耐摩耗舗装の現状と問題点  
橋面舗装の現状と問題点  
カラー舗装の現状と問題点

# 土質安定 工法便覧

京都大学 松尾新一郎 編

A5判 730ページ

定価 7,000円(〒300円)

### 〈呈内容見本〉

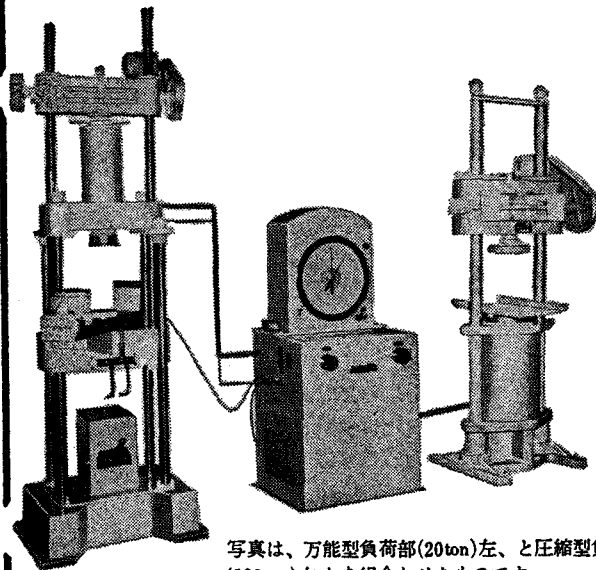
土質安定工法の意義と分野、  
工法選択のポイント、そして、  
34の工法を用途、原理、設計、  
施工法、施工例、施工上の注意  
点にわたって、図を多数用いて  
解説。

集録工法：粒度調整工法／凝集沈澱工  
法／締め固め工法／水締め工法／置換え  
工法／爆破工法／パイロ・フローテ  
ーション工法／サンド・コンパクシ  
ョン・パイル工法／電気衝撃工法／セメ  
ント安定処理工法／アスファルト安定  
処理工法／石灰安定処理工法／合成樹  
脂安定処理工法／被覆工法／防じん処  
理工法／プレローディング工法／サンド  
・ドレイン工法 ほか

日刊工業新聞社

東京都千代田区九段北1-8-10

## コンビネーション型材料試験機



写真は、万能型負荷部(20ton)左、と圧縮型負荷部  
(100ton)右とを組合せたものです。

本機は、一基の丸東リーレ型材料試験機の計測部(pat.No.510965)に、種類の異なる二つの負荷部を連結し、兼用駆動する型式のもので、非常に経済的だ、とご好評を頂いております。

組合わせとして、例えば、圧縮型と万能型、あるいは、圧縮型とコンクリート管外圧型や、構造製品曲げ型などご希望に応じて製作いたしております。

### — 営業品目 —

丸東リーレ式万能・圧縮材料試験機  
セメント・コンクリート・試験機  
土質・アスファルト・理化学試験機  
マルチリング(力計)電気計測器  
岩石・コンクリート用切断・研磨機



株式会社 丸東製作所

本 社 東京都江東区白河2-15-4  
電話 東京(03)643-2111大代表  
京 都 出張所 京都市中京区壬生西土居の内町3-1  
電話 京都(311)7992